

石は語る

The stones tell a story

古来から「いしぶみ」と言われるように、石に刻めば半永久的に保存されます。
町内には有名な文学碑こそありませんが、目につく範囲で収録しました。

なきあとのわか直ころを人とは
すへらくぬちの魂とこたへよ

山脇清次
【伊庭大浜神社】



大浜神社宮司の辞世の歌。織西(歌)音楽会が建立しました。

望郷のおもひ鎮めてとことには
ふく堂の地にやすらひたまへよ

井伊文字
【福堂巡礼三昧】



西国巡礼(じん)の人々が春の嵐で打ち上げられた場所に建立された巡礼三昧碑の側にあります。

近江路や野嶋か崎の浜風に
夕浪千鳥立ち騒ぐなり

顯輔(風雅集)
【福堂・野島崎神社】



歌碑・句碑

惠澤の美拳
静順の空仰ぐ

方堂
【川南・公民館】



大津紅葉館・木下弥三郎の徳をたたえた義仲庵(義仲)第十八世・方堂の作。

此の路やかのみちなりし草笛を
吹きて子犬とたわむれし路

阿部鏡子
【織山麓】



ふるさとの春にぎはへとわがちちが
うみべの宮に植えし桜や

中村九一
【伊庭・金刀比羅浜】



伊庭村長だった父が金刀比羅浜に植えた桜を追懐(懐)し作った歌。作者はアララギ派の歌人。

日の本にひかりあふれてからくにも
かゝやかしけむおほみいさをに

塚本源三郎
【本町・太子堂】



上宮(宮)会館が昭和11年(1936)秋に創立されたときに建立されました。

従是南捻見寺領



北須田と南須田
の境界
昔は神崎・蒲生の郡界

道標・境界石



湖邊巡礼
二十四番

観世音

安楽寺道
是より三丁

【安楽寺】

近江源氏 佐々木家生湯之池

【佐生】



佐々木家発生の地と
伝わっています。昔
は昼なお暗い竹藪の
中にありましたが、
いまはやぶの一部も
切り拓かれました。

南無阿彌陀佛

福堂・巡礼
遭難供養碑



記念碑・由緒碑・遺跡

五十余土松

安楽寺・
十応寺(焰魔堂)



御茶之水

能登川・
伊庭御殿地



県下最初耕地整理碑

【南須田】



背景の山は観音寺山

【南須田・腰越】



【川南・浄土寺】



【大徳寺】



【長勝寺】



法華塔

五輪塔

【長勝寺・山上】



顕彰碑

関諦観

山路・浄源寺の学僧、勸学職。



後藤但馬守城址

佐生城主、子孫の後藤賢豊父子は佐々木氏に謀殺された。佐生山に城址が残っています。



〔佐生城址〕



大橋錦護

幕末から明治にかけて伊庭小学校で教え、子弟に慕われました。〔伊庭・謹節館〕



竹中半兵衛の墓

竹中半兵衛は豊臣秀吉の軍師で、中国攻めに大功を立てました。その子孫がこの地に住んでいて、川南・浄土寺に先祖を偲んで建てたということです。

桂利剣

今・光臺寺の学僧。

